

プロポーザル審査採点基準表

- 評価方法：審査委員（５名）が各自 100 点満点で採点し、その合計点（500 点満点）で順位を決定する。
- 各項目の配点に採点に応じ下記係数を乗じて合計するものとする（見積金額の評価を除く）。

評価区分	評価	係数
A	優れている（要求を超える提案）	1.0
B	やや優れている（若干の創意工夫がみられる）	0.8
C	普通（要求通り）	0.6
D	あまり評価できない（要求を満たすが物足りなさを感じる）	0.4
E	評価に値しない（提案がない場合も含む）	0.0

評価項目		評価基準	配点
業務実績		・過去５年間に、元請負として、国又は地方公共団体発注業務で、別紙１「仕様書」の「２ 業務内容」と同種又は類似の業務を履行した実績は、本業務を遂行するのに相応しい内容か。	１５
実施体制		・統括責任者を配置のうえ、適正な人材・人員を配置するなど、提案内容を確実に実施できる適切な体制が提案されているか。	１５
提案	先進事例の調査・研究、人口等将来推計	・先進事例の調査・研究、人口等将来推計を行うにあたって、具体的な提案がされているか。	２０
	会議の運営支援	・会議を円滑かつ適切に推進するために、具体的な提案がされているか。 ・議事シナリオ（台本）作成や事前説明などのバックアップ体制が具体的であるか。	２０
	公立保育所・幼稚園のあり方等に関する基本方針案の作成	・公立保育所・幼稚園のあり方等に関する基本方針案を作成するにあたって、具体的な提案がされているか。	２０
見積金額		（価格評価点の算出方法） 価格評価点（最高 10 点）の算出は、各提案者の見積金額（税抜き）を用い、次の算定式により行う	１０

	ものとする。算出された点数に小数点第 3 位以下の端数が生じた場合は、四捨五入し、小数点第 2 位までとする。 【算定式】 $\text{価格評価点} = 10 \text{ 点} \times [1 - (A - B) / (C - B)]$ 各記号の内容は以下の通りとする。 A：評価対象となる提案者の見積金額 B：全提案者のうちの最低見積金額 C：本業務の予算上限額（予定価格） ※ただし、提案者が 1 社のみの場合、またはすべての提案者の見積金額が同額であった場合は、一律で「10 点」を付与するものとする。	
合 計		1 0 0